



あさひ



朝日ヶ丘小学校
令和7年 12月 吉日
学校 だより

清掃活動や委員会活動を通して学ぶこと

校長 小宮俊彦

いよいよ師走に入りました。この1年間を振り返ってみると、いろんなことが頭に浮かんできます。入学式、運動会、校外学習、宿泊学習、学習参観……。今年度も3分の2を終えました。残り4か月ですが、学校生活が子どもたちにとってより良きものとなるよう、職員一同努めてまいりたいと思います。

さて、日本全国の小中学校では、清掃活動と係活動・委員会活動が行われています。しかし諸外国には、あまり見られない教育活動のようです。この清掃活動と係活動・委員会活動がもつ教育的意義、教育効果は様々ありますが、その一つとして労働に対する意識の育成につながるものがあると思います。

働くということは、生計を立てるため、夢を叶えるためなど自分のために働くという意味は大きいですが、時には自分の好き嫌いとは関係なく、与えられた仕事をしなくてはならないことがあります。好き嫌いで働くのではなく、誰かのために役立つために働く、社会に貢献するという意識が労働のモチベーションの一つとすることの意義は大きいと思います。そして、こうした意識は清掃活動と係活動・委員会活動の場で育つものであり、日本の社会を支える大きな力となっているのではないのでしょうか。

「やさしい心、やさしい言葉」をキーワードに学校経営を進めています。清掃活動や係活動・委員会活動も「やさしい心」につながります。働くことの大切さがわかる人に育ってほしいと思います。

令和7年も間もなく閉じようとしています。保護者の皆様におかれましても、よい新年をお迎えできますようお祈り申し上げます。

12月の生活目標 「すみずみまできれいにしよう」

※学年・学級の実態に合わせて、児童一人一人が自分の課題として取り組めるよう、具体的な目標を設定して取り組みます。

